

会 議 録

1 会議名	平成21年度第1回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成21年4月13日(月) 午後2時00分～ 4時30分
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター 大会議室
4 出席者	<p>【委員】江連俊, 太田正, 手塚敏子, 古橋悟一, 江連功, 小野久男, 柏木聖子, 神山光男, 北見和弘, 北見幸夫, 柴田征男, 鈴木幸男, 手塚道子, 福島照喜, 横塚境, 和田春海, 小林和美, 櫻井清一, 佐藤きよ子, 藤井直和</p> <p>【事務局】上河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域づくり課長, 保健福祉課長, 産業土木課長, 地域経営課職員</p>
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】なし</p> <p>【記者】なし</p>
7 会議経過	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 辞令交付 3 あいさつ 4 委員紹介 5 事務局紹介 6 地域自治会議の内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域自治制度について (2) 地域自治会議について (3) 会議及び会議録の公開について 7 会長・副会長の選任について 8 諮問 <ul style="list-style-type: none"> ・ 合併市町村基本計画の執行状況について(諮問) 9 合併市町村基本計画について <ul style="list-style-type: none"> ・ 概要と現状について 10 その他 11 閉会

1 開会	
第1回宇都宮市上河内自治会議開会	
2 辞令交付	
委員を代表して江連委員に市長代理として自治振興部長より辞令を交付	
3 あいさつ	
自治振興部長よりあいさつ	
4 委員紹介	
自治会議委員20名の紹介	
5 事務局紹介	
事務局の自己紹介	
6 地域自治会議の内容	
(1) 地域自治制度について	
事務局	・地域自治制度について説明
(2) 地域自治会議について	
事務局	・地域自治会議について説明
(3) 会議及び会議録の公開について	
事務局	・会議及び会議録の公開について説明
7 会長・副会長の選任について	
事務局	・宇都宮市地域自治会議規則第2条に基づく会長・副会長の選任について説明
委員	・今回、委員が半数以上入れ替わっており、委員同士の互選が難しい状況であることから事務局案があれば、その案を基に協議してはどうか。
全委員	・異議なし。
事務局	・会長に作新学院大学総合政策学部教授の太田委員を、副会長に上河内地区連合自治会より推薦の神山委員を推薦するが、いかがか。
全委員	・異議なし。
事務局	・太田会長からご挨拶をいただきたいので、よろしくお願いします。
会長	・新生、宇都宮市の中で上河内地域を存在感のある地域とするため、2年間の蓄積と、取り組みをされた委員の皆さんのご苦勞を引き継ぎ、新たな委員となられた皆さんと一緒に取り組みながら、進めたいと思っている。
8 諮問 合併市町村基本計画の執行状況について	
市長代理として自治振興部長より宇都宮市上河内自治会議へ諮問	

9 合併市町村基本計画について	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・合併市町村基本計画の概要と現状について説明
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「合併市町村基本計画」地域別計画における主要事業の地域交流館整備事業の実施に向けた考え方の中に農村地域の活性化を図るためとあるが、耕作放棄地、農家の家族構成、後継者の有無など、基本的な実態が把握された上での考え方となっているのか。 ・上水道事業統合整備について、簡易水道と専用水道とあるが、専用水道部分に関しては、今後どのように考えているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流館整備事業については、農村地域を活性化するために、宿泊施設と関連するものを作っていきたいとの考えから始まった事業であり、農業体系についての必要性に関しては議論されていない。 ・上水道事業統合整備については、前提にあったものが簡易水道事業であり、専用水道に関しては、具体的には議論されていない。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流館整備事業に関する質問には地域の実情の把握という趣旨があったかと思うが、具体的な状況把握は、事務局では何かデータベースのようなもので整備しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流館整備事業については、具体的な整備計画まで立てたものを移行したのではなく、これからどういったものが必要か議論していく段階であり、現状では地域の実情把握までには至っていない。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・すでに計画の中に含まれている事業内容については、進捗状況についての確認、整理ということになる。 ・既に計画されたことが、どのように進められているのか、そこからのスタートであり、これらの計画は実際に有効活用され、地域の活性化につながらないと意味がないので、これらを含めて、この自治会議で取り上げて進めさせていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市道10101号線付近に老朽化が進んでいる橋があるが、道路新設改良事業の中に入っていたのではないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・合併市町村基本計画には全路線を載せているわけではない。その橋に関しては、道路新設改良事業の全計画には入っているが、現在の13主要事業の中には表記されていない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトシティはどこの県や町を参考としたのか。そして、どこまで進んでいるのか市民が理解しているのか。 ・合併を行った町は、進んでいる過程が市民に見えるように、10年間検証していかなければならないが、どう考えているのか。

会長	<ul style="list-style-type: none"> 合併後のまちづくりをどう進めていくかについての基本的な考え方であり、新市一体となったまちづくりを、住民側から見ていかなければならないという意見についてどう考えているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 先ほど質問されたコンパクトシティという考え方については、市がどこの何を参考にしたのかはわからない。 現在都市計画のマスタープラン等を作成しており、このプランの中に各地域の将来像が位置づけられている。これらを踏まえながら合併後3年目に差し掛かる地域のまちづくりもこれから考えていくところであるのご理解いただきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> コンパクトシティは今後日本が人口減少へと移行し、これまで膨張してしまったものを、身の丈に合うよう集約化していこうという考えから出てきたものだと思う。 宇都宮市全体としてコンパクトシティを目指しつつ、地域自体の拠点性を引き続きどう維持していくかが、課題になってくるのではないかと。
10 その他	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ワーキンググループについて説明
会長	<ul style="list-style-type: none"> ワーキンググループとは作業班と考えていただき、各グループが綿密な検討を踏まえ全体会議の中で共通認識を図るものである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 自治会議委員としての役割がよく分からない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 自治会議の役割は4つあり、これまでの2年間の取り組みは、先ほど市長から諮問があった合併市町村基本計画13事業についての答申とまちづくりの提案である。提案はまちづくりを進めるうえでの構想的なものである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 福祉関係の施設など新たな事業を要望することはできるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 自治会議の目的は合併協議で「合併市町村基本計画」に計上された事業について10年間進行管理を行うものである。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 提案の中にはこの13事業以外のものも入るのか。13事業以外のものについて調査、審議を行い、必要に応じて提案をするのであれば、かなり広範囲な内容の提案になるが、その辺の線引きはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ハードの部分は答申に委ね、まちづくり活動するうえで行政支援が必要なソフトの部分は提案に盛り込んでいく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 自治会議の存続は10年間ということで期限が決まっているが、それ以降、地区で様々な問題が出てきた場合、どう対応するのか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> 合併協議の中で10年という期間で実施していくことで始まったものである。それ以降については、はっきりとは分かっていない。ただ、他の地区については、まちづくりの組織が中心になって地域づくりを展開しているのが現状である。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 現時点で結論を出すのは困難なため次回、事務局から示すよう提案する。 自治会議の役割についてハード面、ソフト面はどのように整理したものなのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> これまでの活動での傾向で整理したもので、はっきりとした区分ではない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 諮問に対する答申だけを議論するのでは、自治会議の役割が狭められてしまう。市長の諮問に対しては合併市町村基本計画の執行状況について話し合い、地域がどうしたらいいかなど地域のまちづくりに関しては、まちづくりの提案の中で話し合い、提言できるのではないかと考える。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 基本的にはそのように考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 現実には、市長からの諮問以外については意見を述べられないのではないかと。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 市長からの諮問以外については意見を述べられないとなると、自治会議の存在価値がなくなってしまうのではないかと。 担当地域のまちづくりに関する施策について提案することとあるが、この中で市長の諮問以外のことを提案していくのではないかと。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 基本的には、条例で整理されている行政の附属機関ということで、目的に従って活動していただく形になってしまう。 これからまちづくり組織を作る上で、行政に対する意見や要望を出せると考えられる。これらを整理した上でのちほど説明をしていくということでご理解いただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 自治会議の法的位置づけは附属機関となっているが、自治会議の位置づけは非常に難しく、また権限がないのではないかと。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 現在39地区ある中で、まちづくり組織が出来上がっていないのが上河内地区だけである。本来は、まちづくり組織でいろいろ考えていくもので、組織を早く立ち上げる必要があると思う。 本年度は自治会議と平行してまちづくり組織が立ち上がる時期であり、初めて参加する委員の理解を深めるためにも、この2つの組織の関係について事務局から説明をお願いしたい。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり組織が地域の代表になってまちづくり活動を行っていくものであり、まちづくり組織が実施活動を通して地域の代表になれるところまで、自治会議は環境整備を行っていく。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 委員の共通認識を図るためにも、自治会議の役割、自治会議とまちづくり組織の関係を整理し、次回の会議で事務局から示めしていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 実際にまちづくり活動を行うのがまちづくり組織であり、今年度中に組織化を図り、活動できるものからスタートしていきたいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 現在、自治会議の中でも「魅力あるまちづくり」について話し合い、だいだらぼうの会でも「魅力あるまちづくり」について話し合っている。自治会議では合併に対するまちづくりを進める、だいだらぼうの会はそれ以外の地域のまちづくりを進めていくように、整理し分けて進めていかないと混乱を招くだけである。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> だいだらぼうの会の意見を活かし、まちづくり組織の中に組み込んでいきたい。団体の代表だけの連絡会議のようなまちづくり組織にはしたくない。その中で、こんな支援が必要ではないかという時に、今回の提案を自治会議で見直しながら、まちづくりを進めていく参考となればよいとの考えである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 自治会議、まちづくり組織、勉強会の3者の関係はどうなっているのか疑問に思う。 自治会議の提案はまちづくり組織が実行するかどうかを判断するという考えで良いのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 自治会議で作成した提案は、まちづくり組織が活動する上で参考になるのであろう提案である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> あくまで自治会議で提案したが、まちづくり組織が決定権を持っていると考えて良いのではないか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 地域自治会議に対する位置づけや、方向性が合併当初の考え方と、今日では変わってきているのではないか。今後のために、整理しておく必要がある。 自治会議の役割や性格をどう理解するかについては次回、事務局から整理したものを示し、結論が出なければ継続して議論していくということでご理解いただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 自治会議は今年から始まったものではない。今までの2年間とこれからの役割が変わってきてはおかしい。市長の諮問に対する答申は、

	<p>合併協議で決まった13の事業についてのものである。提案に関しては、ハードなものになろうとソフトになろうとより有効なものであるならば、市長に提案することによっていいと思う。やるかやらないかは市長の判断であり、施策を提案するところまでが自治会議の仕事である。そして、実行するのはまちづくり組織である。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・整理の再確認を行う。提案を受けて実行するのはまちづくり組織ということだが、提案は執行部に対して提案するのか。提案し、市長がどう受け取るかは別の問題になるが、市長に提案したものに対し、まちづくり組織が独自にその提案の内容を判断して、必要があればその中から実行していくというのか。 ・前年度提案された資料を次回の会議に提供を求める。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会議で提案をしたものに対し、市が予算計上を行い実際に実行すれば何の問題もないと思うが、全て実現するわけではないと考えられる。実際に事業を実施するのは、地域自らが動かないと実現しないものである。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・次回整理したものを委員に示すよう事務局に求める。 ・今後のスケジュールとワーキンググループの編成についての質問を求める。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会議がこれから何をやるかということ、委員の方々が理解していない段階で、ワーキンググループを行うのは難しいのではないかと。もう少し自治会の役割を知った上でワーキンググループを行うべきではないか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局としてはワーキンググループの編成は、次回以降早い時期に行うという考えなのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・次回以降の早い時期にお願いしたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ編成については次回以降とし、また次回には今までの2年間の取り組みについての事務局からの報告をお願いする。 ・その他に意見を求める。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市長が諮問する事業は13項目だが、合併時には他にもあったのではないかと。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な事業を統合し13項目に分類したと考えてほしい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、各委員から意見を求める。(意見、質問なし)
11 閉会	
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・以上を持って、第1回宇都宮市上河内自治会議を終了する。